

誰もがその人らしく 安心して暮らせる 福祉のまちづくり



# 多良木町社協だより



## 誰もが安心して暮らせる福祉の町づくりのために

日本国中で一億総活躍社会づくりが進められるなか子ども、高齢者、障がいを持つ人を含めた住民一人ひとりが安心して暮らせる地域づくりを求められています。

そのために住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できるよう地域の絆をより結束し、公的な福祉サービスだけでなく共に助け合いながら暮らすことができるために地域福祉の充実が必要になっています。

社会福祉法人 多良木町社会福祉協議会 平成30年 3月29日発行

〒868-0501 熊本県球磨郡多良木町大字多良木1571番地1 ☎ (0966) 42-1112 FAX (0966) 42-1113

ふれあいネットワーク



# 地域福祉活動と聞いて どんなことを思い浮かべますか。

社協では誰もが安心して暮らせる福祉の町づくりを使命に地域住民や関係機関、各福祉団体、ボランティアの皆さまと協力して地域福祉の推進に取り組んでいます。

多良木町は人口1万人を切り少子高齢化も進み、平成30年には高齢化率39%を超え地域福祉の重要性が高まっています。また地域の絆が希薄になっているという声も聞かれます。

このような多良木町を取り巻く状況で、自立支援のために介護予防を推進し、高齢、障がい、その他のさまざまな事情から福祉サービスが必要な状態になっても、これまでつくりあげてきた家族、友人、知人との関係を保ち、社会的

な活動への参加を継続することで地域の一員として、誰もが自分らしく、誇りをもって、生活を送ることが地域福祉の目的です。

地域福祉を進めるためには、暮らしを支援するいろいろな福祉サービスを整備することに加え、地域の人々の結びつきを深めるために助け合いや交流活動を盛んにすること、集いの場や趣味を楽しむ居場所などを誰もが利用しやすくすることがとても大切です。

地域福祉の実現には、福祉関係の専門機関だけでなく、地域づくりに取り組む住民の皆さまとボランティアや福祉団体、保健・医療、住宅、さまざまな専門職など多くの協力が必要です。



# ともに支え合う地域づくりの推進

子どもは都市部で働き高齢の親だけで生活する、人口減少で空き家も増え近所との付き合いが少なくなるなど、地域の地縁的なつながりが希薄になりつつあります。多良木町では3～4軒に1軒が高齢者のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯※1で、今後も増加する見込みです。

また子どもの数は減少していますが、児童虐待や不登校などの問題は依然として存在しています。子どもにとって家庭での教育は重要ですが、家庭内だけで育つわけではありません。学校や地域、たくさんの人に見守られて成長していきます。

障がいを持つ人も高齢化による障がいの重度化、親なきあとの生活など課題があります。子どもや障がいを持つ人、高齢者自身、家族を含めた困り事や要望（ニーズ）が複合化・複雑化するなかで公的な福祉サービスのみでなく、声を掛け、助け合える『ともに支え合う地域づくり』を推進します。

『ともに支え合う地域づくり』を推進するために社協ではボランティアや福祉団体、地域づくりに取り組む住民の皆さま、学校やさまざまな関係機関と連携・協力して事業を行っています。ここで事業の一部をご紹介します。

※1 平成29年4月現在 ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯調査結果より

## 福祉学習の推進のために

多良木町の小・中学校、高校、支援学校をボランティア協力校に指定し、地域の美化活動やふれあいいきいきサロン等での交流会を実施し関心を高めていくことで豊かな地域社会づくりにつなげます。



多良木中学校  
認知症サポーター養成講座



多良木小学校 車椅子体験

ひとり親家庭を対象に親子のふれあいと夏休みの思い出づくりとともに、日頃交流する機会が少ないひとり親家庭同士の交流の場をつくり、つながりを強めることで、ひとり親家庭の福祉の推進に寄与することを目的に親と子の集い事業を実施しています。



親と子の集い

## 情報提供の充実

社協の事業に関する情報や多良木町を中心として地域福祉活動の取り組みなどについて広報誌の発行と、迅速に情報を提供するためにホームページの運用を行います。

福祉サービスは利用されるご本人が自らの選択によって利用されることとなります。そのためには選ぶための判断材料が必要です。福祉に関する情報を提供することで自分の意思で最適なサービスが選択できるよう情報提供を充実します。



## 相談体制の整備

心配ごと相談事業や働きたくても働けないなど事情を抱えた方（生活困窮者等）の支援のために相談窓口を設けています。

また自宅などに出向いて（アウトリーチ）ご相談いただける体制を整えています。



## ■民間福祉団体活動の促進

老人クラブ連合会、民生委員児童委員協議会、ボランティアグループの研修など学習機会の充実を支援します。

### 民生委員児童委員活動の支援

「民生委員」は、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な情報を伝えたり、社会福祉の増進に努める方々で「児童委員」を兼ねています。

児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行います。児童に関することを専門的に担当される「主任児童委員」がいます。

多良木町には30名の「民生委員児童委員」と、2名の「主任児童委員」が指名されて活動されています。

地区社会福祉協議会活動の活性化と充実を実現するために支援します。

地区社会福祉協議会は行政区を一つの活動の単位とし、地域で住民のみなさんが積極的に活動に参加することによって、地域の中の助け合いを育て生活上の要望・困りごと（ニーズ）を解決する活動です。

具体的な活動として

- ①小地域見守りネットワーク
- ②ふれあいいきいきサロン活動
- ③地域の楽しい交流やふれあいの場づくり
- ④地域で行う福祉の勉強会や、住んでいる地域を福祉の目線で考え、困りごとの発掘を行う活動

地域のいきいきサロン活動の情報の共有化や、活動の活性化を図ることを目的にふれあいいきいきサロンボランティアリーダー情報交換会を開催しています。



久米1区ふれあいいきいきサロン

災害時に駆けつけたボランティアをスムーズに災害支援に調整、繋げられるよう毎年、球磨圏域の社協が企画、運営する災害ボランティアセンター設置訓練をボランティアグループと地域赤十字奉仕団（地域婦人会）にご協力いただき実施しています。



災害ボランティアセンター設置訓練

民生委員児童委員協議会是一人ひとりの民生委員児童委員を会員とする組織で、個々の委員活動を支えるために定例会を開催し民生委員児童委員同士の情報交換や連携を図るとともに、研修会も行います。



民生委員児童委員協議会の施設訪問

『健康・友愛・奉仕』をスローガンに活動されている老人クラブ連合会を支援します。



ディスクゴルフ大会

## 社協福祉まつり

社協福祉まつりは、住民の方々に福祉について身近に感じ理解を深めてもらい、興味を持ってもらう機会を目的に開催しています。毎年、敬老月間に開催し高齢者の皆様をはじめ地域の皆様楽しんでいただこうとイベントも計画し、確かな生活支援とパートナーづくりの一環として実施します。



社協福祉まつり

# 安心して利用できる 福祉サービスの基盤整備



福祉サービスを利用する側と提供する側は対等な関係であり、契約を結ぶことでサービスが提供されます。

自分のことは自分で決められる『自律』を支援させていただくことでより良い福祉サービスの選択につながります。

## 利用者の保護

病気など何らかの理由で判断能力が不十分な人のサービス利用を支援する必要があります。

地域福祉権利擁護事業で判断能力が不十分になった時にも、契約までのお手伝いすることで福祉サービスを利用できるように支援したり、日常的な金銭管理等の相談援助を行います。

また寄り添いながら『自分のことは自分で決められる』『できなかったことが少しのお手伝いで出来るようになる』ためにアドバイスやサービス利用の調整を行います。

人吉球磨成年後見センターと連携し、自分ひとりでは契約や財産の管理などをすることが難しい方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「成年後見制度」利用の支援を行います。

自立相談支援事業として社協が窓口となり、住居確保に向け給付金の支給、家計の立て直しについてのアドバイスや決まった住居がない方へ一定期間の宿泊場所と食事等を提供、就労への準備、子どもの学習援助など専門機関と協働して自立に向けた支援を行います。

上球磨消防組合の協力を得て、ひとり暮らしや高齢者世帯へ火災予防のために訪問防火指導を実施し在宅で安心・安全に生活できるよう支援します。



上球磨消防組合による防火指導

## 福祉サービス調整（ケアマネジメント）体制の整備

生活支援コーディネーターを配置し、地域に出向いて地区社協、いきいきサロンや老人クラブ、民生委員などから意向調査を行います。また、地域の高齢者から個別に生活上の意向調査も併せて行います。

調査内容を地域住民の代表、福祉団体、行政、医療・福祉関係者等と協議体による話し合いと情報共有を通して、要望（ニーズ）や地域の実状に応じた仕組みを考え提案します。

## サービスの質の確保

訪問介護、訪問入浴介護、通所介護、居宅介護のサービス従事者が向上心を持って利用者の尊厳保持等への必要な研修を受け、新たな福祉サービスに積極的な関わりを持ち、専門性を高めることで、より満足度の高いサービスが提供できる体制づくりを進めます。



意向調査のようす



協議体



いきいき百歳体操



# 誰もが暮らしやすい生活環境の整備

子どもから高齢者、さまざまな障がいを持つ人でも、すべての人が住み慣れた地域で暮らすことができるよう環境を整えます。

## 福祉サービスと住民とともに力を合わせた活動の推進

多良木町では32の地域でふれあいいきいきサロンを実施されています。その活動を後押しするとともに新しくはじめる地域を支援します。また、障がい者へのサロン活動も支援します。

また民生委員や老人クラブ連合会シルバーヘルプ部との連携によって、一人暮らしや高齢者世帯となっても地域で暮らせるよう見守り体制の強化を進めます。さらに地区社協による小地域見守りネットワークの充実も支援します。



久米6区ふれあい  
いきいきサロン 太極拳



社協・老連共催グラウンド・ゴルフ大会



黒肥地7区ふれあい  
いきいきサロンでの交流会



黒肥地西9区ふれあい  
いきいきサロンでの交流会

## ボランティアセンターの運営

ボランティア活動をしたい人とボランティアを必要とする人や福祉施設を結びます。ボランティア活動をしたい人には活動先の紹介等を、ボランティアを必要とする人や福祉施設等には相談を受け、必要に応じたボランティアを紹介します。

## ボランティアポイント制度

ボランティア活動を始める“きっかけ”や、ボランティア活動継続への“励み”として利用していただくことにより、町内のボランティア活動の更なる促進につなげることと、高齢者のみなさまについては豊かな経験と知識、技能を生かしたボランティア活動を通して地域貢献や社会参加をすることで、より元気になっていただくことを目的としてボランティアポイント制度の運営も行っています。主な活動場所はいきいきサロンや福祉施設などで多良木町の平成30年2月現在でボランティア登録者は315名、依頼延べ件数は年間405件で登録者数、活動件数ともに年々増加しています。

## ■ ボランティア養成



ボランティア活動を活性化するために「興味はあるけれど、どうすればいいのかわからない」という方に向けて、「できること」から、始められるようボランティア養成を支援します。平成29年度は介護予防・閉じこもり予防を目的にガンバルーン、傾聴ボランティアの養成講座を行い合計20名が受講されました。

また、継続して活動いただけるよう振り返り・実践の質を向上できる講座などを支援します。



傾聴ボランティアの養成



ガンバルーン体操  
インストラクター養成



ボランティア連絡協議会  
研修のようす



熊本県の  
ボランティア大会に参加

## 多良木町の将来を**明**るくするために

地域の絆を強めることで、地域の持つ力と公的な支援がともに力を合わせて、誰もが安心して暮らせる「地域共生社会※2」の実現に向けて社協は住民の方を応援し、一緒に汗をかいていけるような存在を目指します。

あなたも社協とともに、一歩を踏みだしてボランティア活動や地域の絆を強めるために地域福祉活動に参加してみませんか？

※2 地域共生社会とは子ども、高齢者、障がい者と対象者ごとに分かれた制度・分野ごとの垣根を越え、制度の対象とならない生活上の要望（ニーズ）への対応や複合的な困りごとを解決できるような体制を築きます。また自分らしく活躍できる地域づくりを行い、公的サービスと一緒に助け合いながら暮らせる社会です。





# 多良木町で行われている 地域福祉活動やボランティアなど福祉事業を掲載

地域福祉の情報が盛りだくさん!!  
町内のボランティア活動を紹介!!  
社協が行う介護保険事業の最新の活動も掲載!!  
福祉の相談や貸付事業などについてわかりやすく説明!!

多良木町社会福祉協議会ホームページ

【アドレス】

<http://taragi-shakyo.or.jp/>

または、“多良木町社協”で検索



多良木町社協

検索

スマートフォン・携帯電話からも閲覧できます。

QR  
コード



多良木町社会  
福祉協議会の  
ホームページ  
開 設

「たとえ小さな一歩でも、昨日より確実に前へと進んでいること」が、わたしたち「社会福祉法人多良木町社会福祉協議会」のモットー（合い言葉）です。皆さまのお役に立てるようタイムリー（適時）な情報発信を心がけてまいりますので是非とも閲覧ください。

予算・決算・貸借対照表は、社会福祉法に基づき、ホームページ上で公表しております。

この広報誌は、共同募金の配分金の一部を活用して作りました。